

第Ⅳ部の概要

ここでは、学生指導に関する内容や第Ⅰ～Ⅲ部のいずれにも分類しがたい内容を取録した。その内容は、厚生補導研究会・数学のプリント置き場・連携授業・ガイダンスなど多岐にわたる。

(1) 学業不振学生 指導上の諸問題

[平成3年度(1991年)一関工業高等専門学校厚生補導研究会・基調講演]
前年度に取りまとめた「高専入学後の技術者志向の推移と勉学意欲」をもとに、学生の勉学に関するいろいろな意識について考察し、指導上のいろいろな課題について問題提起した。

(2) 大容量・高速ネットワーク時代の授業像 — 板書をノートに取らせない授業 —

[平成14年度(2002年)高等専門学校教育教員研究集会(水戸市)での発表概要]
高専のネットワーク回線の強化により可能となる授業像について提起した。具体的には、著者が実践を始めた「板書をノートに取らせない授業」の概要について発表した。

(3) 高専入学生にみる中学校での数学の学習状況と勉強の仕方について

[数学教育の会(2010年夏の集会・お茶の水女子大学)での発表概要]
高専新入生に対して、中学校での数学の学習状況と勉強の仕方について調査した。「勉強しない」者の中には、十分理解でき勉強の必要性を感じない者が含まれていることが示唆された。

(4) 一関高専における卒研室見学を取り入れたキャリア教育ガイダンス(共著)

[論文集「高専教育」第35号, 2012.3]
高専1年生に対して長年行われてきた「卒研室見学」が、実施者である専門学科教員やクラス担任が考えている以上の効果を学生にもたらしていることが、アンケート結果により示された。

(5) グループエンカウンターと5分間スピーチを取り入れた第2学年の特別教育活動

[論文集「高専教育」第38号, 2015.3]
第2学年の特別教育活動でグループエンカウンターや5分間スピーチを取り入れ、その効果をhyper-QUで評価した。これらの試みは、学生相互のコミュニケーションを促進する上で有効であることが示された。

(6) 書評:「生きがいの創造」 [平成11年度(1999年)一関高専「図書館だより」5月27日号]

飯田史彦著「生きがいの創造」に関する書評である。学生相談室長をしていたときは、飯田氏の了解を得て講演の音声ファイルを学生相談室のHPにも登録し、多数のアクセスを受けた。

(7) 所感: 定年退職を迎えて [平成24年度(2012年)一関高専「学校だより」3月号]